

SOSII Check Script

概要

ファイルテスト関数を利用し、その診断結果を表示させるスクリプトです。

SOSII を設置後、ディレクトリの有無、パーミッションの設定等、初期設定に問題が無いかを調べるために使用します。

使い方

ファイルのダウンロード

以下のファイルをダウンロードします。

.

設定項目の変更

ファイルの DL が完了したら、ファイルを編集し、必要な部分を変更します。

```
$check = 1;
# 1 = SCRIPT OF SAGA II Ver 1.10 or Lower (本家オリジナル)
# 2 = SCRIPT OF SAGA MASIMARO CUSTOM CGI 分割 Ver.1.5
# 3 = SCRIPT OF SAGA MASIMARO CUSTOM 統合版 ver.3
# 4 = Script Of Saga II Ver1.5 + DungeonSystem
# 5 = Script of Saga II FQFD EDIT EDITION Version Final
# 6 = Script of Saga II petit ver:1.2
```

```
$adminurl = './ufs2.cgi'; # ufs2.cgi のパス
```

```
$fontsize = '12'; # フォントのサイズ
$color = '#333333'; # 文字色
```

```
# SCRIPT OF SAGA MASIMARO CUSTOM 統合版 ver.3 の設定
$qstmdat = './qstitm.dat'; # qstitm.dat のパス
$qstddat = './qst.dat'; # qst.dat のパス
```

```
# Script Of Saga II Ver1.5 + DungeonSystem の設定
$ditmdat = './ditm.dat'; # ditm.dat のパス
```

```
# Script of Saga II petit ver:1.2 の設定
$dispcgi = './disp.cgi'; # disp.cgi のパス
```

以上が設定範囲です。

基本的には SOSII の設定を読み込み処理しますが、一部設定が足りて無い部分があり、上記のよう補う必要が出てきます。

```
$check = 1;
```

これは使用する SOSII を選択します。

本家オリジナルのスクリプトであれば「1」という事ですね。

現在のところ Wiki 配布の分割版には未対応ですが、動かないことはありません。

```
$adminurl = './ufs2.cgi'; # ufs2.cgi のパス
```

ufs2.cgi のパスですね。

相対パスもしくは絶対パスで指定します。

```
$fontsize = '12'; # フォントのサイズ
$color = '#333333'; # 文字色
```

見での通り、表示する文字サイズと文字色の設定になります。

```
# SCRIPT OF SAGA MASIMARO CUSTOM 統合版 ver.3 の設定
$qstmdat = './qstitm.dat'; # qstitm.dat のパス
$qstmdat = './qst.dat'; # qst.dat のパス
```

SCRIPT OF SAGA MASIMARO CUSTOM 統合版 ver.3 を使用する場合、これらの設定を補う必要があります。

これら 2 つのファイルを相対パスもしくは絶対パスで指定します。

```
# Script Of Saga II Ver1.5 + DungeonSystem の設定
$ditmdat = './ditm.dat'; # ditm.dat のパス
```

Script Of Saga II Ver1.5 + DungeonSystem を使用する場合、これらの設定を補う必要があります。
上記ファイルを相対パスもしくは絶対パスで指定します。

```
# Script of Saga II petit ver:1.2 の設定
$dispcgi = './disp.cgi'; # disp.cgi のパス
```

Script of Saga II petit ver:1.2 を使用する場合、これらの設定を補う必要があります。
上記ファイルを相対パスもしくは絶対パスで指定します。

ファイルのアップロード

設定が終了したら SOSII と同じ要領でアップロードします。

設定項目からの必要上、本体スクリプトと同じ階層(ディレクトリ)に設置する必要があります。

パーミッションは SOSII 本体と同じ設定です。

通常は 755or705 ですね。

.....と思いましたが、パーミッションの設定は恐らく不要です。

SOSII 側の変更

トップページとして表示されるスクリプト(通常 sos2.cgi)の

```
# Main Program #
```

の直前に

```
require './check.cgi';
```

と記述します。

```
require './check.cgi';
```

```
# Main Program #
```

このような感じです。
改行はお好みでどうぞ。
変更が終わったらアップロードします。

確認の実行

SOSII 本体にアクセスしてみましょう。
SOSII Check Script が起動しているはずですが、
起動せずに SOSII のトップページが表示されてしまった場合、上記の SOSII 側の変更が上手く
いきません。

チェック項目に「NG」が無ければ初期設定に問題はありません。
NG が出た場合、簡単な理由が表示されると思います。
適宜修正を施します。

確認の終了

無事に確認が終わりましたら、再度 SOSII を変更する必要があります。

```
require './check.cgi';
```

の記述を削除します。

これはプログラムを割り込ませて実行し、勝手にプロセスを終了させるスクリプトです。
上記の記述を削除しない限り、SOSII は実行されません。